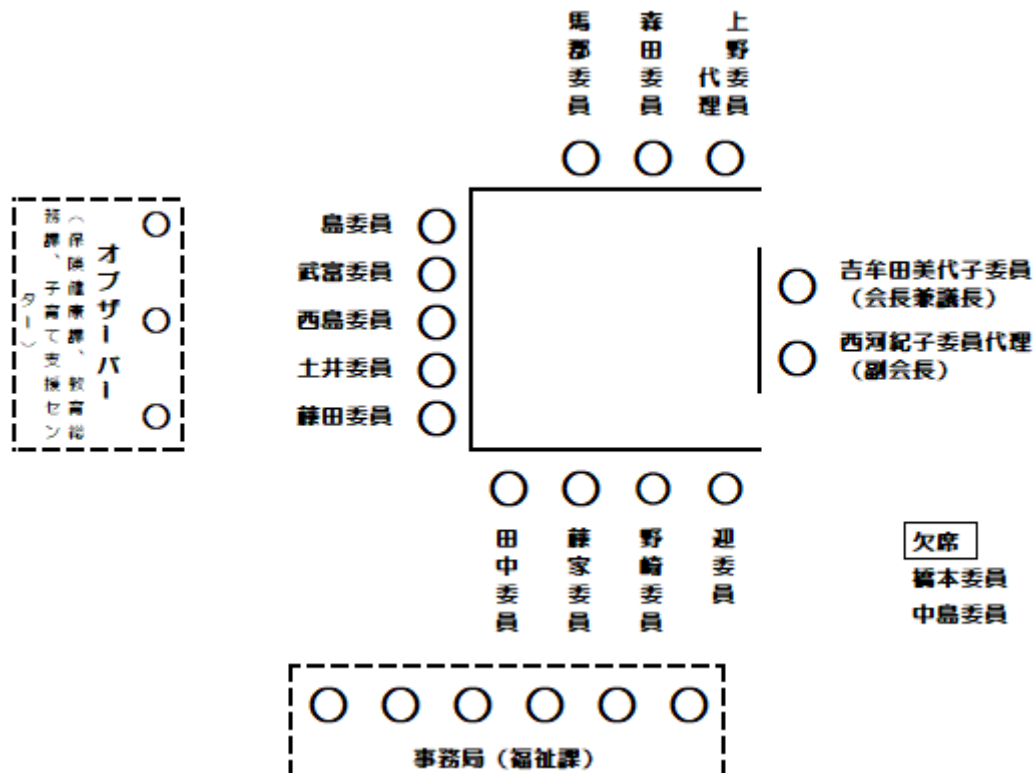


令和元年度第3回鹿島市子ども・子育て会議支援事業計画 および子ども子育て支援事業計画策定委員会（議事録）

開催日：令和元年 11 月 15 日（金）14:00～15:15

場 所：保健センター いきいきルーム



1. 開会

寺岡福祉課長補佐 司会進行

2. あいさつ

染川福祉課長

「今回は本計画に掛かる内容について、年明けに市民の皆様から意見公募を行うパブリックコメント実施前の最終案について委員の皆様からご審議をいただくものです。」

3. 協議

※会議進行は前回に引続き、吉牟田委員が会長（議長）、西河委員代理が副会長

(1)鹿島市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(平成 30 年度分)に係る 点検・評価について

事務局 片渕より説明

Q 乳幼児全戸訪問事業について。平成30年の量の見込み実績は231名。計画290名と差があるか、全戸訪問はできたのか？それとも231戸訪問したということなのか？（島委員）

A 計画値は前計画策定時の予測値なのでズレがあるが、充足はしている。中には、乳幼児訪問を行う期間に会えなかった人もいる（里帰り出産など一時的なもの）。

Q H30 年だけの量の見込み計画値が減っているが、確保方策の数値はそのまま。なぜか？（野崎委員）

A H29 年度の子ども・子育て会議にて計画値の見直しを行ったところ。

(2)パブリックコメント前の第二期鹿島市子ども・子育て支援事業計画(案)について

事務局 片渕より説明

Q 鹿島市で行っている障がい者への対応、取組等を知りたい。（武富委員）

A 医療的ケアが必要な方へは家庭への訪問保育や移動支援を行っている。「すこやか教室」で児童発達支援を行っており、保護者同伴での利用・保護者にも対応について学んでもらっている。

Q 53 ページ 7 行目の「教諭」という表現は、認定こども園の保育教諭を指さないと認識するので、追加してほしい。（吉牟田議長）

A 併記して対応したい。

Q 病児・病後児保育を実施する施設が市内には無いようだ。市内設置を検討できないか？また、放課後児童支援員の処遇・研修の充実と支援員の確保を、きちんと行ってほしい。学校と家庭を繋ぐスクールソーシャルワーカーの役割は大きい。配置体制を検証してほしい。（武富委員）

A 現段階で鹿島市での設置計画はない。近隣市町の施設を案内しているので、計画もその数値で計上している。放課後児童支援員についての研修については月一回本市主催で支援員連絡会の場で講師を招聘し、実務的なものなど研修開催を行っている。
スクールソーシャルワーカーについてはスクールカウンセラー等の連携を図り支援の強化に努めていきたい。

Q 子育て総合相談センターについて、国県へのフィードバックの体制等あるのか？（馬郡委員）

A 支援が必要な家庭には県の保健師と同行している。国への報告は特に行っていない。県とは中央児童相談所と情報を密にしており、2か月に一度、関係機関が集まり要保護者等対策地域連絡協議会を開催している。また年度末での統計（実績値）は、正確な報告として国へ繋がり、予算の面等で反映されていると思われる。

Q すこやか教室はどれぐらい稼働しているのか？閉まっていることが多いようだ。利用の仕方について伺いたい。
放課後児童クラブ登録をしても通っていない人がいる。夏休みだけ利用したい為だけに登録しているようなので、対応を伺いたい。またその内容を保護者へ周知をお願いしたい。（土井委員・島委員）

A すこやか教室は入り口は児童が飛び出す可能性もあるので、施錠して運営をしている。インターホンがあるので職員を呼び出してもらうか、もしくは事前に福祉課まで声掛けをして頂ければ対応できる。利用にあたっては障がいをお持ちの子どもについては訓練が必要かどうか？の調査を行い、市で決定を行う。利用は週1回ほどで、一日の利用定員は10名、50名ほど登録されている。半数以上の方が市外からの利用。

放課後児童クラブは昨年度より、パンフレットで夏休みのみ利用は不可という文言は外した。特に夏季休暇時の利用料も他の月と同様の利用料になるため。ただ空きがあればの対応になるので、ご理解いただきたい。また保護者ニーズに応えるため、周知を行っていきたい。

Q 計画の基本目標2について、基本目標1や3は、本市としてどうするかという方向性を示しているが、基本目標2の1つ目の目標は本市としてどうするかという言い回しになっていない。また2つ目のまちづくりを推進するとは子どもが「確かな生きる力」を身に付け、成長し自立できることと関係性が不明で分かりづらい。(上野委員代理)

A 事務局で改めて精査し、表現が分かりやすいように校正したい。

(3)その他

事務局より

- ・今後のスケジュールは年明けにパブリックコメントを実施し、2月に第4回の会議開催を予定。

～ 吉牟田会長、西河副会長は降壇 ～

4. 閉会